

(1) いそいで助けが必要なとき (交通事故・犯罪/火事/急な病気や大きなけが)

① 助けが必要なときの電話番号

電話をかけるときは、次のことを知らせます。

- 何があったのか (例：「火事です」)
- どこで (住所が分からないときは、近くにある目印になるもの (例：建物) を教えます)
- 名前
- 電話番号

警察 (交通事故・犯罪) 電話番号 **110**

消防車 (火事) 電話番号 **119**

救急車 (急な病気や大きなけが) 電話番号 **119**

自分で病院に行くことができるときは、救急車を呼んではいけません。

A 交通事故・犯罪

交通事故にあったとき、起こしたとき、見たときや、どろぼうにお金や物を盗まれたときは、すぐに「110」に電話をして、警察の人を呼びます。

けがをした人がいるときは、「119」に電話をして、救急車を呼びます。

警察の人を呼ぶときに言うこと（例）

たすけて ください
こうつう じこ です
どろぼう です
ひったくり です
なぐられました
ばしよ は ○○○○○○ です
じゅうしよ は ○○○○○○○○○○○○○○○○○ です
わたしの なまえ は ○○○○○○ です
でんわ ばんごう は ○○○○○○ です

B 火事

火事を見たときは、大きな声で、周りの人に、教えます。

安全な場所に逃げてから、「119」に電話をして、消防車を呼びます。

「119」に電話をしたら、火事であること、あなたのいる場所を教えます。

消防車を呼ぶときに言うこと（例）

かじ です

しょうぼうしゃ きて ください
じゅうしょ は ○○○○○○○○○○○○○○○○○ です
わたしの なまえ は ○○○○○○ です
でんわ ばんごう は ○○○○○○ です

C 急な病気や大きなけが

急に病気になったり、大きなけがをして、動くことができないときは、「119」に電話をして、救急車を呼びます。

健康保険証と、今飲んでる薬も持って行きます。

救急車のお金はいりません。

軽いけがや病気のときは、救急車を呼んではいけません。タクシーや自分の車で、病院に行きます。

救急車を呼ぶときに言うこと (例)

きゆうきゆうしゃ きて ください
〇〇 (だれ【例】わたしのこども)が.....
〇〇 (← からだ のばしよ) を けが しました
〇〇 (← からだ のばしよ) が いたい です
たおれました
おとこ / おんな です
〇〇 さい です
じゅうしょ は 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 です
わたしの なまえ は 〇〇〇〇〇〇 です
(けが / びょうき を した ひと) の なまえ は 〇〇〇〇〇〇 です
でんわ ばんごう は 〇〇〇〇〇〇 です